

5 - 4 中国地方西部の地震活動 (1977 年 11 月 ~ 1978 年 4 月)

Seismic Activity in Western Chugoku District, Southwest Japan (November, 1977 ~ April, 1978)

東京大学地震研究所

白木微小地震観測所

Shiraki Microearthquake Observatory

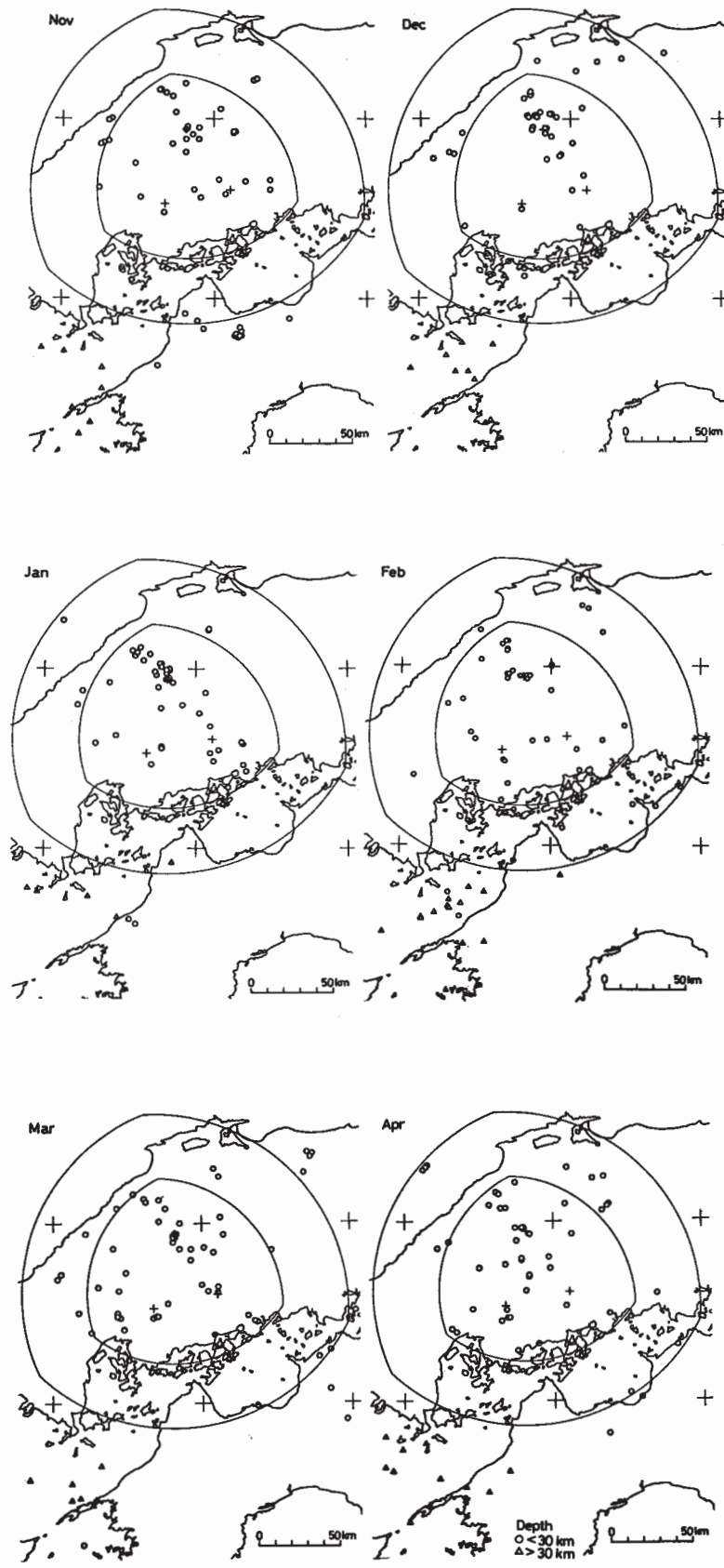
Earthquake Research Institute

University of Tokyo

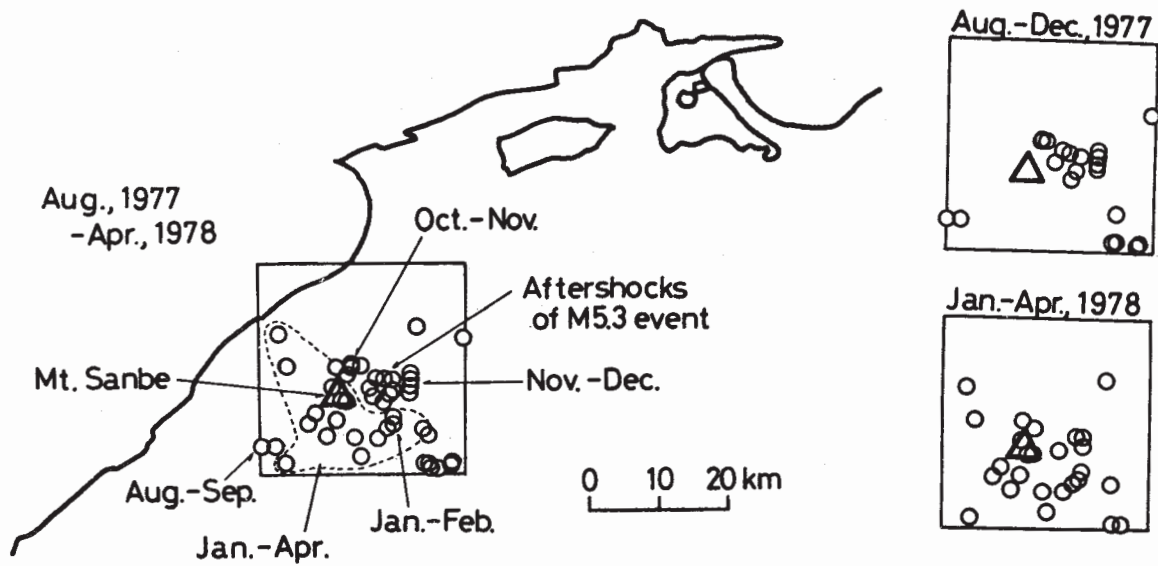
1977 年 11 月 ~ 1978 年 4 月の間の震央分布を第 1 図に示す。この期間の主な活動としては、3 月 24 日鳥取県中部 (倉吉付近, M 4.0), 3 月 28 日広島県南東部 (福山付近, M 3.8) などがある。

三次北方 (広島県北部ならびに広島・島根県境) の活発な活動と三瓶火山東方 (1977 年 5 月 2 日, 島根県中部, M 5.3) の余震活動が続いており, こうした活動は, 全体として北西から南東へ, 島根~広島両県を横切る活動域を構成している。また, これらは同一の場所のみで起きているわけではなく, 時間の経過とともに少しずつ活動の場所を移動させている。なお, 三瓶山東方の余震活動は, 1 月以降南西側へ拡大し, 三瓶山周辺の活動が活発化していることが注目される (第 2 図)。

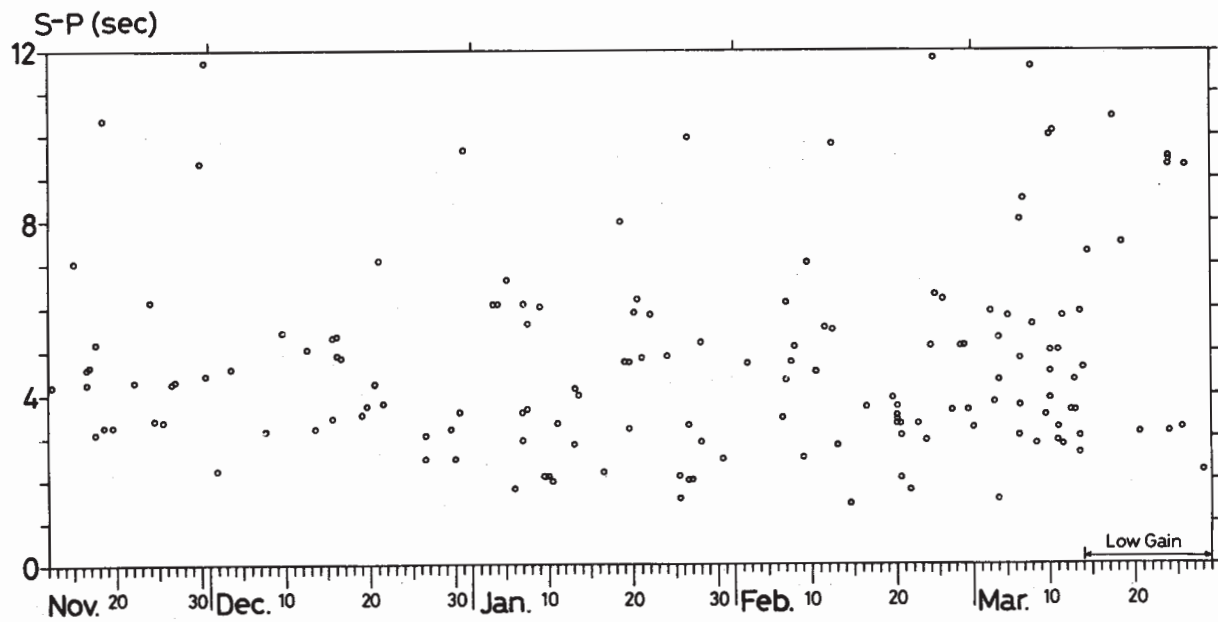
宍道観測点 (宍道湖南方約 5Km) での S - P 分布を第 3 図に示す。観測期間中 (1977 年 11 月 12 日 - 1978 年 3 月 28 日) 特に顕著な活動の変化は見られなかった。また S - P が 2 秒以下のものは, ごく小数しか観測されていない。



第1図 震央力布。1977年11月～1978年4月
 Fig. 1 Distribution of epicenters for November, 1977 ~ April, 1978.



第2図 三瓶山周辺の地震活動
 Fig. 2 Seismic activity around Mt.Sanbe.



第3図 宍道観測点でのS-P分布
 Fig. 3 Distribution of S-P times at the Shinji temporal station.